

## 式辞

竜神中に今年も春がやってきました。旅立ちを迎えたみなさんにふさわしい、希望に満ちた快晴の春ですね。

このよき日に 卒業証書授与式を挙げるにあたり、豊田市 市議会議員 杉本 寛文様はじめ御来賓の皆様にご臨席を賜りましたことに 心からお礼申し上げます。

(ありがとうございます)

・・・卒業生のみなさん、「おはよう」・・・いつものあいさつと違って、少しだけ寂しさが混ざっています。これがみんなに贈る最後のおはようです。これからは、先生にしてくれた分も地域の方や親にあいさつをしてくださいね。

卒業証書授与、心のこもった自分らしい返事、熱いまなざしをありがとう。胸が熱くなりました。それは、きっと君たちがこの3年間、志を胸に、心と行動を一致させようと努力し続けたからです。ずっと応援していました。本当によく成長しました。

君たちの3年間の足跡は、「翔竜のとき」に、きっと後輩がそして君たちの仲間が語ってくれることでしょう。それ以上の言葉を私は持ち合わせていません。その代わり、この場で、私からみなさんに3つの話を贈ります。

1つ：3年間の復習です

心ふるえる ふるわせる時を重ねて一竜人になろう！ 私の話の最後はいつもこの言葉でした。皆さんに質問します。

「心がふるえること」って、そんなに大切なのでしょうか？

人の心臓をつくっている細胞はドクンドクンと約30億回動いたら寿命を迎えるのが科学の常識でした。2週間前その常識がひっくり変える大革命が日本で起きました。大阪万博で展示されていた心臓のiPS細胞、人工細胞での治療が世界で初めて認められたのです。人の寿命が変わった瞬間です。

でもね、心臓のドクンドクンの回数や、何回呼吸をするかで、人の幸せが決まるわけではありません。どれだけ心のふるえる瞬間があるか！、きっとそこに幸せがあります。この3年間の体験で学んだね。

君たちは、自分の頭で考え、決断して行動する自律を身に付けました。仲間と共に一つの目標に向かって挑戦できるようになりました。それこそ掃除やあいさつ、授業での対話、起立の速さといった日常の一コマにも集中して全力で取り組んでいたことが、何より誇らしかったです。

そんな君たちが卒業を前にありがとうプロジェクトを立ち上げ、感謝の気持ちをカタチに表そうとする姿を見て、一竜人に近づいたなああと、しみじみとした気分になりました。これから大人になっても今の心を忘れずに、心ふるえる、ふるわせる時間を積み重ねてください。

2つ：これからの人生の予習をします

皆さんに質問します。人生の大切な場面で、自分の一番得意なことで失敗してしまったとします。皆さんはその時どう切り換えて乗り越えますか？

先日のミラノ・コルチナオリンピックでそんな場面がありましたね。フィギュアスケートペア「りくりゅう」さんの演技です。

私はオリンピックほどのプレッシャーのかかる経験がありませんので、りくりゅうさんの気持ちはとても想像できませんが、私自身は、ピンチになったときには、二つの言葉を心の中でとなえるにしています。

1つ・・・今・ここで、できることをする。

2つ・・・これから先、できることをふやす。

今ここでできることをする。これからできることをふやす。覚えておいてください。きっとこの2つで、あなたの人生は、自分と周りの人を幸せにできるすばらしい人生になるでしょう。

3つ：漢字一文字の話

立志で皆さんは大切にしている漢字を一文字決めましたね。私も、3年間の成長し続けた君たちに贈りたいの漢字を見つけたので、竜のデザインで作ってみました。これです。「越えつ・越える

これからできることをふやす生き方は、まさに今の自分を越えていく生き方です。僕は僕を、君は君を越えていく。君たちが歌った Unlimited の歌詞だね。こんな素敵な歌を歌ったんだね。

自分を、越えて、越えて、越え続けて、あなたしかできない、あなただからできる、なりたい自分になろう。応援しているよ。

終わりが近づきました。

友達、部活動の後輩、地域部活動のコーチ、草刈りをし続けてくれた整備員さん、給食の配膳パートさん、今も職員室で電話番をしてくれている事務職員さん・・・思いつく全ての人に、ありがとうを伝えてください。

ありがとうプロジェクトの集大成がこの卒業式だったね。最後は、君たちの親に「育ててくれてありがとう」だよ。それでありプロは完結、本当の卒業です。必ず伝えるんだよ。約束。

私は一足先に、ありがとうの気持ちを伝えます。

保護者のみなさま、お子様のご卒業おめでとうございます。私ども教職員はお預かりした子供さんの成長をお手伝いすべく、努力して参りましたが、十分、行き届かなかった面も多々あったかと存じます。それでも、温かいご支援とご協力をいただきましたことに心から感謝し、お礼を申し上げます。ありがとうございました。

さあ出発です。志学年220名の門出に際し、いつもの言葉で見送ります。

自律・・・貢献

心ふるえる ふるわせる時を重ねて、一竜人になろう！

3年間、ありがとう！ いつまでも応援しています。

新しい世界に 「いつてらっしゃい」